「WAZA博」に注目

京都ギフトショー

多彩な商材で会場を構成

京都ギフトショーの会場

第7回京都インターナショナル・ギフト・ショー2026は、3月11、12日に京都・岡崎の京都市勧業館「みやこめっせ」で開催、今回は京都府下からの出展が約半数を占めたほか、全国27の都道府県と海外からは5カ国と地域から約270社が出展して、多彩なギフト商材で会場を飾った。

会場は「衣」「食」「住」「法人ギフト」にまつわる多彩な商材や、技に焦点を集めた「WAZA博」「ACTIVE CREATORS STORE／雑貨かわいい食マルシェ」などの展示で構成した。

会場は、バッグ、靴、ストールなどの服飾雑貨、衣類、アクセサリーなどの「衣」。食品、飲料品、地場特産品、キッチン商品など食べ物にまつわる調理器具を集めた「食」。OEM&ODM製品、名入れ商品、店舗演出関連商品、顧客管理システムなど法人向けの提案商品を集めた「法人ギフト」などで構成した。

また、京都の特別企画「WAZA博」は、伝統に培われた技から生まれる素材をはじめ、職人や作家の熟練から生まれる商品、新しい技術など、伝統と経験から生み出される「匠」の技に焦点を当て、さらなるビジネスの広がりの場を提供した。今回は京都手書き友禅協同組合所属の職人による「挿友禅」、「摺箔」は実演も行い、無料の体験コーナーも設けられた。

併催展として「京都知恵産業フェア2026～Kyoto Style～」では、「ほんまんもん」が息づく、個性豊かな京都の魅力を発信したほか、多彩な催しが行われた。

なお、コンテストでは、グランプリに手づつみちらし（桔梗屋）が受賞した。

文具と紙をメインに

ナガサワ文具センター 文具ファンで賑わう会場

文具と紙と暮らし市

株式会社ナガサワ文具センター（長澤宗弘社長、神戸市）は、3月26～30日、神戸市中央区の大丸神戸店9階イベントホールで、「文具と紙」をメインとしたイベント「文具と紙と暮らし市2026」を開催、リピーターをはじめ多くの文具ファンで連日賑わった。

会場にはメーカーや作家など62ブースを展開、文具や紙雑貨、ハンコなど、日々の暮らしを彩る多彩なアイテムを紹介。

会場入り口には呉竹、サクラクレパス、ゼブラ、デビカ、ぺんてる、ベステック、ニチバン、日本理化学工業、不易糊工業など文具メーカーのブースが並び、春にぴったりの文具雑貨を紹介してイベントを盛り上げた。

ブース内ワークショップでは、日本理化学工業が「キットパスでカードづくり」を企画、好評を博した。

人気のハンコ作家の出店ブースに隣接したシヤチハタは、スタンプアートに使いやすい「いろもよう」や関連商材を出品。

初出店のぺんてるは、エナージェル初のソフトカラー「コハレ」や筆ペンの技術を活かしたコスメブランド「ルルズコスメティコ」を紹介。ナガサワ文具センターは、好評のオリジナル文具にスタンプ、ふせん、コラボ測量野帳、アクリルチャーム、3色ボールペンを加えて、今後はイベント限定品として販売する。

やデザイン性を備えたペンやクリップなどのアイデア文具、個性豊かなクリエイター雑貨など種類豊富に取りそろえている。

「人気ブランドのコラボレーション」では、コクヨのやわらかい樹脂製リングのリングノート「スーファ」と「本山印刷」のペーパーアイテム専門店「ペーパーメッセージ」がコラボレーションしたデザインノート、ダイゴーの仕事をはかどらせるステーショナリーやクリップなどのアイデア文具、個性豊かなクリエイター雑貨など種類豊富に取りそろえている。

「人気ブランドのコラボレーション」では、コクヨのやわらかい樹脂製リングのリングノート「スーファ」と「本山印刷」のペーパーアイテム専門店「ペーパーメッセージ」がコラボレーションしたデザインノート、ダイゴーの仕事をはかどらせるステーショナリーを活用できるカッター付きクリップ「メモカットクリップ」、サンスター文具の動物が小物を頬張るように収納できるデザインのポーチ「ほおばりぃず」、パイロットコーポレーションの消せるフリクションインキとオリジナルの油性インキを1本に搭載した多機能ボールペン「フリクションボールペンSWITCH」、レイメイ藤井のじゃばら式でパッと開いて自立するカードホルダー「keptジャバラカードホルダートレカサイズ」など。

「好きな色で気分を上げる限定&新色アイテム」では、サンスター文具の手のひらサイズのブッククリップ「ウカンムリクリップぷち」の限定色、レイメイ藤井の利き手を選ばず使えるペン型はさみのレトロなスケルトンカラー「ペンカットスケルトン」など。

全国ロフトで展開

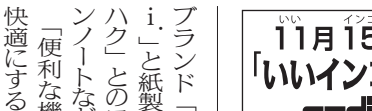
文フェス 2026

春の新作文具が一堂に

梅田ロフト店での展開

全国のロフト及びロフトネットストアで、ロフト先行アイテムを含む春の新作文具を一堂に集めた「文フェス2026SPRING」を3月7日～4月17日まで開催している。人気のブランドとコラボレーションした限定アイテムをはじめ、新生活に役立つ機能性ブランド「i.sshoni.」と紙製品ブランド「ヨハク」とのコラボレーションノートなど。

「便利な機能で新生活を快適にするアイデア文具」では、クツワの不要な裏紙



作家文具や人気メーカーの商品が多数並ぶ。期間中は人気作家や文具店による店頭販売も予定している。

全国のロフト10店舗で限定ルーズリーフのイベント

○…マルマン

マルマン株式会社（井口泰寛社長、東京都）とルーズリーフの専門店ステッチリーフ（東京都）は、それぞれの使い方を4つのテーマで紹介する形で「オトナも楽しめる限定ルーズリーフイベント」を全国のロフト10店舗で開催している。

同イベントでは〝4つのトキ〟を軸に、ルーズリーフを「暮らしを楽しむアイテム」として提案。A5とミニサイズの活用や抜き差し自由なバインダー機能を活かした、スケジュール管理から日常ログ、スクラップ、カスタマイズまで、多彩な使い方を展示する。

イベントの開催スケジュールは、池袋ロフトが3月7日～4月26日、渋谷ロフトが3月20日～5月1日、銀座ロフトが3月30日～4月26日。

また吉祥寺、横浜、仙台、千葉、京都、天神、梅田など全国のロフト店舗で順次開催する。

告知ビジュアル

「くるみん」認定を取得

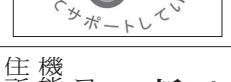
○…パイロット

株式会社パイロットコーポレーション（藤崎文男社長、東京都）は、従業員が仕事と育児を両立しやすい職場環境の整備に取り組んできたことが評価され、3月5日付で「くるみん認定」を取得した。

「くるみん認定」は、子育て支援のために一定の基準を満たした「子育てサポート企業」として厚生労働大臣が認定する制度。

なお、同社は「くるみん認定」に加え、女性活躍推進の「えるぼし認定（最高位3つ星）」、「健康経営優良法人」を取得。

多様な人財が安心して働ける環境づくりに取り組んでいる。



「くるみん」の認定マーク

4月14～30日 新本社へ移転

○…コクヨ

コクヨ株式会社は、本社機能の移転および本店登記住所を次の通り変更する。これまで大阪市東成区の本社と梅田オフィスの2拠点に分散していた一般管理部門と事業部門を新オフィスに集約、より密な連携と創造を図る。

新本社住所 大阪市北区大深町5番54号グランフロント大阪パークタワー14階

移転期間 4月14～30日

代表電話 06（6976）1221。各部門を含む電話番号の変更はない。

移転部門ごとに順次業務を開始する。登記住所は5月1日付けで変更。来社受付は6月以降を予定している。

移転部門 グローバルワークプレイス事業本部、ビジネスサプライ事業本部、ファイナンス&アカウンティング本部、グローバルエンタープライズ本部、ヒューマン&カルチャー本部、CSV本部、リスクマネジメント本部、会長室、監査委員会室

なお、現本社オフィスに所在しているグローバルワークプレイス事業本部、グローバルステーショナリー事業本部は変更がない。

福井の文具博 GWに新会場で

○…ホリタ

株式会社ホリタ（堀田敏史社長、福井市）は、ゴールデンウィーク期間中の5月1～6日、福井で楽しむ文具博「BUNGU HORI博」を開催する。

同社では、福井県初の文具イベントを昨年初開催、地元福井をはじめ、石川県や滋賀県など県外からの来場もあり、5日間で7千人を超える人気を博した。

今年は「HORITA LIFE CANVAS」に会場を移し、さらにスケールアップして開催。全国の人気メーカーや作家など約17ブランドが参加し、

文具ホリ博のポスター

墨で彩る作品展 初の東京開催

墨運堂が協賛

株式会社墨運堂（松井昭光社長、奈良市）が協賛、アーティストの岬ましろさんが主催する、墨で彩る作品展「墨の彩」が奈良から東京へ会場を移し、4月3～26日に東京で初開催されている。

「墨の彩 Tokyo」は誠品生活日本橋が共催し、東京・日本橋室町のCOREDO室町テラス2Fで開催。内外で活躍する8名のアーティストの作品展示に加え、4月12日に蒼喬氏と18日に紫昏たう氏の有料ワークショップ（予約制）を開催予定。

好奇心を刺激するイベント開催

○…コクヨ

コクヨ株式会社（黒田英邦社長、東京都）は、「好奇心」を刺激する体験コンテンツを詰め込んだポップアップイベント「CURIOSITY POPS UP!（キュリオシティポップスアップ）」を、3月20～22日、東京都世田谷区のサテライト型多目的スペース「n. 5（エヌテンゴ）」で開催した。

イベント風景

今回のポップアップイベントでは、新しいコーポレートメッセージ「好奇心を人生に」のもと、文具や家具を超えた「好奇心屋さん」としてのコクヨを体験できるコンテンツを用意。

参加者はオリジナルデザインのカップを使ったドリンクバー体験や、好奇心の実を収穫するコンテンツなど、好奇心を刺激するさまざまな体験を楽しんだ。

すみっコぐらし 春装飾が大阪・梅田に登場

サンエックス株式会社（千田洋史社長、東京都）の人気キャラクター「すみっコぐらし」のスプリング装飾が3月13日～4月13日、大阪・梅田の地下街「ホワイティうめだ」に登場し、話題を集めている。

満開の桜と春のお花が彩るヘップ前広場では、ポカポカお花見を楽しんでいるようなすみっコたちが登場。さらに、「サニーテラス」には「えびてんのしっぽ」「えびふらいのしっぽ」「あじふらいのしっぽ」によって結成されたユニット「しっぽず」が初登場。しっぽずと一緒に写真が撮れる可愛らしいフォトスポットも設置されている。

大阪・梅田の地下街での展開

HAGURUMA

匠の技 ステンレス製 高級つめきり
ワンタッチで跳ね上がる 開口部
使いやすさとデザイン性を追求した無駄のないつめきり
テコ表面中央部分 超微粒ヤスリ付き
美しい暮らしを創る装粧利器刃物
グリーンベル
http://www.greenbell.net/

グッドデザイン賞の受付開始

日本デザイン振興会は、2026年度グッドデザイン賞の応募受付を4月1日より開始した。

今年度は、1957年の創設から数えて70回目の開催となる。グッドデザイン賞は、日本を代表するデザイン賞として、「Gマーク」とともに広く認知されてきた。受賞対象は、多くのユーザーやプロフェッショナルから信頼を得るとともに、企業価値やブランド力の向上、ビジネス機会の創出にも寄与している。

また、受賞後は「Gマーク」を活用した広報・販売促進活動が可能。

応募締め切りは5月21日午後1時。

2026年度は新体制でのスタートとなり、審査委員長に中川淳氏、副委員長に川上典李子氏、鈴木元氏、原田祐馬さんが就任する。約100名の国内外の専門家による審査体制のもと、全20カテゴリーから選出を行う。https://archive.g-mark.org/entryguide/